

# リサイクルプラント東浦工場 施設見学会

日 時 令和7年11月12日(水) 10:00~11:30  
場 所 オオブユニティ株式会社 リサイクルプラント東浦工場  
参 加 者 19名(うち岐阜県3名、静岡県1名、三重県4名)

中部地域協議会女性部会(東久保真弓会長)は、オオブユニティ株式会社の廃棄物焼却発電施設である「リサイクルプラント東浦工場」を視察しました。

現地では、環境ソリューション事業部次長兼リサイクルプラント東浦工場長の相木拓馬氏より、あいさつと事業概要の説明をいただきました。本工場は2023年7月に稼働を開始。ごみ焼却で発生する熱エネルギーを回収して資源として有効利用する「サーマルリサイクル」を行うとともに、臭気などは燃焼用空気として炉内で熱分解するなど、周辺環境に配慮したシステムを採用。ごみを焼却して減容化・無害化を行い、焼却時に発生する排ガスは、大気汚染防止対策を万全に施したうえで大気に放出しています。



東久保真弓会長



相木拓馬氏



集合写真



## ごみ処理の流れ

### 1. 計量

場内の計量器でごみの重さを測定します。

### 2. 搬入・投入

ごみ収集車のままプラットホームへ運び、投入扉からごみピットへ投入します。ピットには約8日分のごみを溜めることができます。安定した燃焼のため、大型ごみクレーンで1度に約2tのごみを混ぜ均一化します。

### 3. 焼却

流動床焼却炉では、下部から空気を送りながら砂とごみをかき混ぜ、燃焼効率を高めます。これにより、安定した均一な燃焼で廃棄物を完全燃焼させます。

### 4. 廃熱利用と発電

廃熱ボイラ・蒸気タービン発電機・蒸気復水機・集じん装置を経て、廃熱利用と発電を行います。

### 5. 飛灰処理

最終的にダスト混練機で、飛灰中の有害成分が溶け出さないようキレート剤を混ぜ合わせて処理します。



他にも施設内には、専用ボックスによって運ばれてきた医療系廃棄物を取り扱う「医療系廃棄物保管庫」や、排ガス中に微量に残っている有害物質を触媒の働きにより無害化する「触媒反応塔」、廃酸・廃アルカリなどそれぞれの特性に合わせた高い耐腐食性をもつ貯蔵タンクなどもあります。

事業概要説明後の施設見学では、参加者は相木氏の説明に聞き入り、積極的に質問する様子が見られ、非常に有意義な施設見学となりました。丁寧に説明いただきました相木氏をはじめ、ご案内をいただいた社員の方々に感謝申し上げます。ありがとうございました。